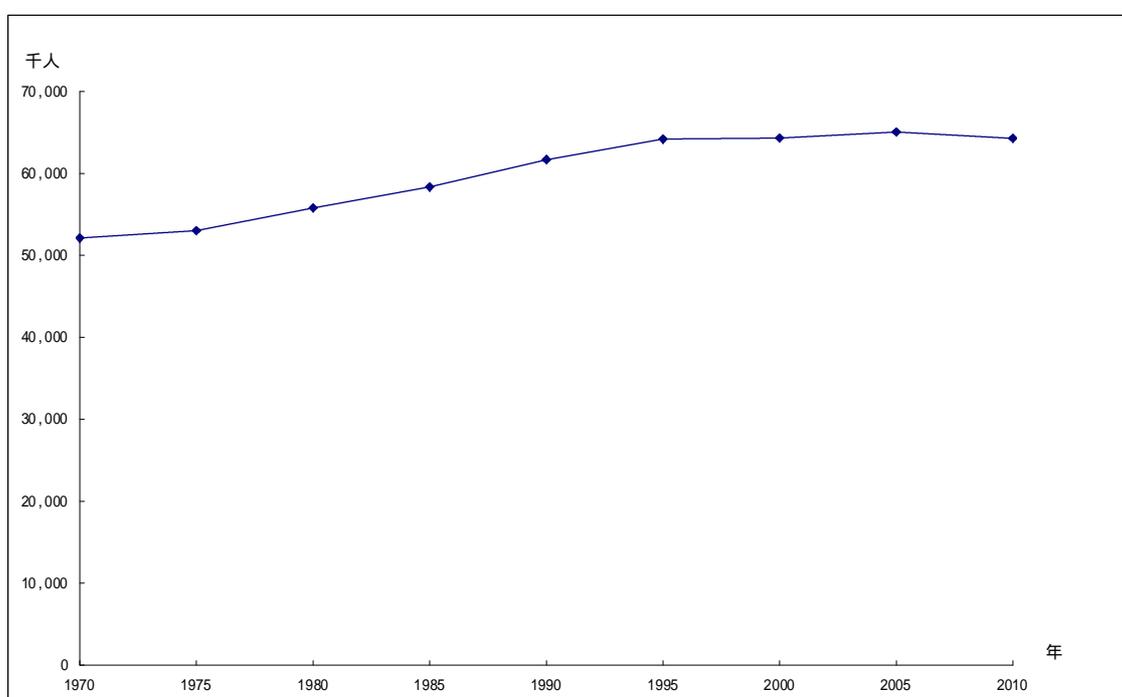


## 2. 就業者数総数の推移

就業者総数は1970年の5211万人から1995年の6418万人へと推移してきた。その間の5年間増加人数は、1970～1975年が90万人、1980年にかけて276万人、1985年にかけて256万人、1990年のバブルの最中にかけては334万人と増加してきた。その後、1995年にかけては250万人増と増加数は小さくなっている。

将来については、人口の増加が止まってきていること、経済成長率が低く失業率が高いことなどから2000年にかけて13万人増と増加人数は極めて小さくなり、2000年に6431万人になるとみられる。その後も、2005年にかけて73万人増、6504万人と推移し、2010年にかけては78万人減少して、6426万人になるとみられる。

図1 就業者総数の推移



資料：総務庁統計局「国勢調査」、予測値は今回作業結果